

国際アグリバイオ事業団 アグリバイオ最新情報  
2017年3月31日

世界

米国国立アカデミーは、**PLOS One** に掲載されたアカデミーの遺伝子組換え作物に関する論文に異論を申し立てた  
国立科学アカデミー（NAS）は未来の遺伝子組換え製品のための準備に関するレポートを発表

アフリカ

モザンビークは、初めての遺伝子組換えトウモロコシの圃場試験を開始した

南北アメリカ

米国環境保護庁（US EPA）は、3品種の遺伝子組換え（GE）ジャガイモを承認  
遺伝子組換えダイズとトウモロコシがボリビアで1億500万米ドルを生み出した  
コーネル大学教授が遺伝子組換え作物の消費を促進  
アリゾナ大学の科学者が、真菌由来のRNAを用いてアフラトキシンフリーコーンを開発

アジア・太平洋

若手科学者賞は、隠れた飢餓と戦う科学者に与えられた  
栄養学の専門家は、遺伝子組換え（GM）作物がフィリピンの栄養要求を満たすことができると語った  
インドの大学で再利用可能なBTワタの種子開発が始まった  
日本農学アカデミーがGM作物の圃場試験の実施を提言

ヨーロッパ

中東21ヶ国からのパスタコムギについて初めての遺伝ラジオグラフィーを公開  
ヨーロッパの化学会社がグリホサートに発がん性はないと発言

研究

CRY10AA 遺伝子は、遺伝子組換えワタにワタゾウムシ耐性を付与する

新育種技術（NBT）

## CRISPR / CAS9 による高アミロースイネの開発

作物バイテク以外

遺伝子編集で改変された豚は、主要なウイルス性疾患に耐性がある

文献備忘録

意見及び見解の表明：一般市民へのメッセージ

ペトリ・ディッシュ (PETRI DISH) がオンライン化された

---

### 世界

米国国立アカデミーは、**PLOS One** に掲載されたアカデミーの遺伝子組換え作物に関する論文に異論を申し立てた

米国国立科学・工学・医学アカデミーは、2016年に発表した遺伝子組換え作物に関する包括的報告書を執筆した国立アカデミーの委員の間で利害の衝突があったと主張する **PLOS One** の論文の著者に対して思慮のないものであるとの声明を発表した。この国立アカデミーの声明では、議論は、厳格かつ明確かつ透明な利益相反を取り扱う方針のもとで実施したものである。委員会は約 1,000 以上の論文を見直し、3回の公開会合、15のウェブセミナーを開催し、遺伝子組換え作物に関する専門家の助言と情報を募集めた。この報告書は、最終版がリリースされる前に、厳密で、外部の、そして匿名のピアレビュープロセスを受けた。としている。

「報酬なしで奉仕した委員会メンバーが、この重要な問題について徹底的かつ慎重な調査を献身的に実施したことに感謝している。米国政府は、国立アカデミーが政策決定と一般市民に証拠に基づいたに情報を提供するために多くの専門家が快く奉仕して下さったことは、幸いであり誇りにしている。我々は、委員会の意見に従うものであり、報告書を誇りとしている。また今日までに 33,618 回の報告書のダウンロードが 169 か国から行われた。」と国立科学・工学・医学アカデミーが声明で表明した。

声明の全文は、以下のサイトでご覧下さい。 [National Academies](#)

---

国立科学アカデミー (NAS) は未来の遺伝子組換え製品のための準備に関するレポートを発表

未来の遺伝子組換え製品と遺伝子組換え規制システムの能力を高めるために国立科学アカデミー (NAS) 委員会は 2017 年 3 月 9 日に「遺伝子組換えの未来製品への準備」と題する報告書の発刊前段階のものを公表した。

この新報告書は、2015年7月にホワイトハウス科学技術政策局（OSTP）によって開始された遺伝子組換え製品の規制を担当する機関の役割を明確にするために開始された事業の一環である。NASは、3つの規制機関（米国環境保護庁（EPA）、米国食品医薬品局（FDA）、米国農務省[USDA]）から依頼され、次の5年から10年の遺伝子組換え製品の未来と未来の製品の動向を洞察し、今後の各機関が備えるべき能力を予見して提供することを委託された。

委員会は、「遺伝子組換え規制システムが将来の遺伝子組換え製品に求められる消費者の安全と環境保護を監督する能力を高める。」ことが必要とされるのでこれらの課題に対応するための3つの勧告を出した。

・将来の遺伝子組換え製品の規制に関与するEPA、FDA、USDA、およびその他の機関は、自然科学、規制、社会科学を含む遺伝子組換えの期待される成長の主要分野において、科学的能力、ツール、専門知識高める必要がある。

・EPA、FDA、USDAは、未知かつ複雑な将来の遺伝子組換え製品の環境学的リスク評価および利益分析の理解と活用を促進するパイロットプロジェクトの利用を増やし、外部のピアレビューと一般市民参加取り込んだ反復リスク分析の新しいアプローチを創生する必要がある。

・国立科学財団、国防総省、エネルギー省、国立標準技術研究所、および新しい遺伝子組換え製品につながる可能性のある遺伝子組換え研究に資金を提供する他の機関は、規制科学への投資を増やし、研究と教育をつなぐ規制・科学活動を増強すべきである。

詳しくは、以下のサイトにある発刊前段階のものをご覧ください。 [NAS website](#)

---

## アフリカ

### モザンビークは、初めての遺伝子組換えトウモロコシの圃場試験を開始した

モザンビークは、2017年2月18日、同国南部Gaza州Chokw地区で遺伝子組換え（GM）トウモロコシの最初の圃場試験を開始した。GMトウモロコシは、アフリカ水資源節約（WEMA）プログラムの一環として、モザンビーク農業研究所（Instituto de Investigação Agrária de Moçambique、IIAM）による隔離圃場で実施された。この試験は、GMトウモロコシの早魃および害虫耐性を試験したものである。

モザンビークのWEMAカントリーコーディネーターのPedro Fato博士は、「これは、気候変動によってもたらされる新しい流れに対応する生産と生産性のための新技術をおおいに必要とする農業者にとって付加価値をもたらすものである。アフリカ、特にモザンビークで作物に悪影響を及ぼした早魃や害虫に対処するものになる。」と述べた。

WEMA のプロジェクトマネージャーの Sylvester Oikeh 博士は、中程度の早魃では WEMA の早魃耐性及び害虫抵抗性トウモロコシは、プロジェクトが開始された 2008 年に開発された品種と比較して、収量を 20~35%増加させることができると述べている。



Contained field trial of GM maize in Mozambique.



WEMA Country Coordinator in Mozambique Dr. Pedro Fato being interviewed by the press during the planting activity.

詳細は、モザンビークの WEMA 広報チームリーダーの Roseiro Moreir 氏と以下のサイトで連絡を取って下さい。 [roseamarmore@yahoo.co.uk](mailto:roseamarmore@yahoo.co.uk) また、モザンビーク IIAM Dr. Pedro Fato 氏 ([fatopedro@hotmail.com](mailto:fatopedro@hotmail.com))と連絡を取って下さい。

---

## 南北アメリカ

米国環境保護庁 (US EPA) は、3 品種の遺伝子組換え (GE) ジャガイモを承認

米国環境保護庁は、アイルランドのジャガイモの飢餓を引き起こした病原体に抵抗性のある遺伝子組換え (GE) ジャガイモ遺伝子操作された 3 品種の栽培を承認した。EPA によると、GE のジャガイモは環境に対して安全であり、食して安全である。

遺伝子組換え (GE) ジャガイモは、J.R. Simplot 社によって開発された。Simplot 社によると、遺伝子組換え (GE) ジャガイモは、ジャガイモ遺伝子のみを含み、疫病耐性遺伝子は、アルゼンチンのジャガイモ品種に由来する自然病原性耐性のものである。

EPA による決定は、2017 年 1 月に食品医薬品局によって与えられた安全性要件に合致している。

詳しくは、以下の EPA サイトをご覧ください。 [AP](#) [Y9](#) [X17](#).

---

## 遺伝子組換えダイズとトウモロコシがボリビアで 1 億 500 万米ドルを生み出した

油糧種子及びコムギ生産者協会 (Anapo)、ボリビア海外貿易機構 (IBCE)、と東部農業商工会議所 (the Agricultural Chamber of the East、CAO)の報告によると遺伝子組換えダイズとトウモロコシ導入によってボリビアに 1 億 500 万米ドルの付加価値が生み出された。

「ボリビアの遺伝子組換えダイズとトウモロコシの社会経済的及び環境へのインパクト」と題する報告書は、2005 年にボリビアで最初に導入した遺伝子組換え作物であるグリホサート耐性ダイズ利用に関する 10 年の経験と研究に基づいたものである。2005～2015 年に 177,000 米ドルの付加価値を生み出した。最近 4 収穫期における遺伝子組換えトウモロコシの生産についてパラグアイの生産と比較した。

IBCE のゼネラルマネジャー Gary Rodriguez 氏によれば、遺伝子組換えダイズの導入によって殺虫剤の使用を減らし、年間 6600 万ドルの節約につながり、さらに生産量が 20 万トン増え、年間 5000 万ドルの利益につながった。一方、遺伝子組換えトウモロコシの導入も農薬の使用量を減らし、生産量を 87,000 トン増やし、1100 万米ドルの収入をもたらすことになる。また、二酸化炭素排出量は 7,000 トン減少し、節水量は 1 億 2,000 万リットルとなる。

詳しくは、以下のサイトからダウンロードして下さい。[report](#) また、ニュース報道は、スペイン語で以下のサイトにあります。[Los Tiempos](#)

---

## コーネル大学教授が遺伝子組換え作物の消費を促進

コーネル大学 Sarah Davidson Evanega 教授 (Cornell Alliance for Science 所長) は、「気候変動に関する科学的コンセンサスを維持しながら、GM 作物の安全性に関する科学的コンセンサスを否定することはできない。」と語った。Evanega 教授は、「食糧安全保障と世界成長：3 月 4 日の大きな旗印として」を話題として学長主宰のコーネル大学女性評議委員会 (PCCW) シンポジウム 2017 の行事の一環として世界レベルの食糧安全保障に、遺伝子組換え生物 (GMOs) が重要な役割を果たすと強調した。

Evanega 氏は遺伝子組換え生物 (GMOs) についての見方をもう一度見直すように、またケースバイケースで各 GMO を評価し、消費者と環境に対するリスクと利益を評価するように促した。「私は、環境保護主義者と言いながら、Bt 作

物などの農薬使用を減らす技術を役立てられない立場には立ちえない。」とも語った。

Cornell Alliance for Science を通じて Evanega 氏は、農業バイオテクノロジーが環境に対する負の影響を最小限に抑えるのに役立っているかを一般市民が理解するのを助けるために働いている。

詳しい報告は、以下のサイトをご覧ください。 [Cornell University website](#) または以下のサイトの記事をご覧ください。 [Cornell Daily Sun](#)

### アリゾナ大学の科学者が、真菌由来の RNA を用いてアフラトキシンフリーコーンを開発

アリゾナ州立大学 (UA) の植物遺伝学者、Monica Schmidt 氏は、アフラトキシンを作る植物につく菌類の能力をオフにする様々な遺伝的に操作トウモロコシに施した。彼女の発見は、オープンアクセスジャーナルの *Science Advances* に掲載されている。

アフラトキシンは、真菌 *Aspergillus* によって産生されるマイコトキシンである。アフラトキシンがヒトや動物に摂取されると肝毒性、肝臓癌、クワシオルク (kwashiorkor)、ライ (Reye's) 症候群、成長障害を引き起こす。

Schmidt 氏らは、*Aspergillus* リボ核酸 (RNA) の断片をトウモロコシ取り込ませた。宿主植物と真菌の間で小さい遺伝子情報を感染中に交換して、アフラトキシンを産生する真菌の能力を停止または消滅させた。この技術は、アフラトキシンフリーとするのに 100%有効で、試験の結果では、アフラトキシンフリーの穀粒を生産できた。

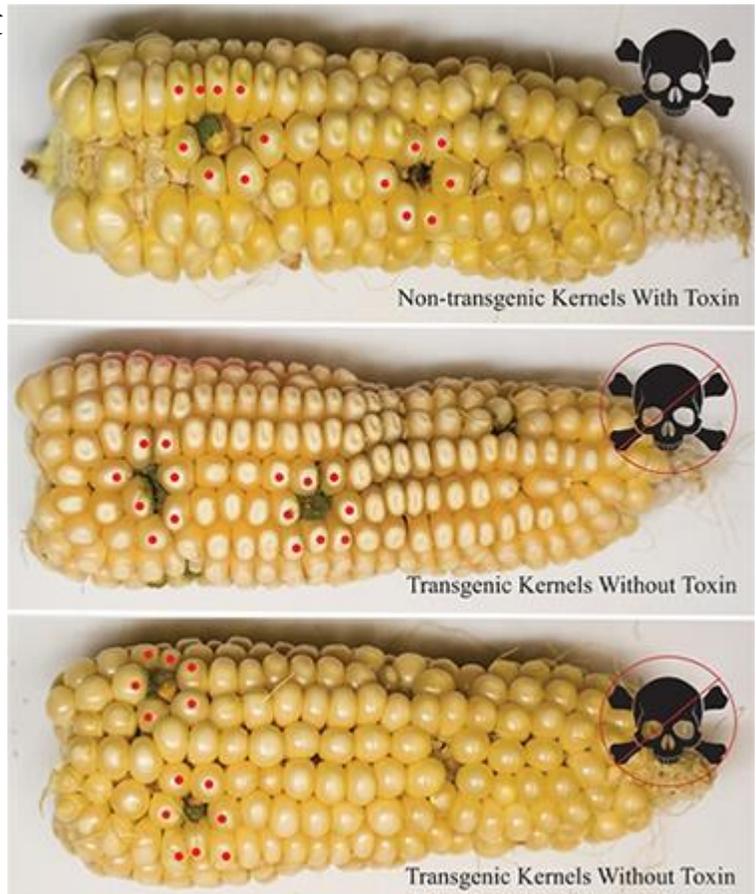


Photo source: Monica Schmidt/UANews

詳しくは以下のサイトをご覧ください。 [Science Advances](#) と [UANews](#)

---

## アジア・太平洋

### 若手科学者賞は、隠れた飢餓と戦う科学者に与えられた

インド植物研究協会は、コムギ育種家である Velu Govidan 氏に「2016 若手農業科学賞」を授与した。

Govidan 氏は、国際トウモロコシとコムギ改良センター (International Maize and Wheat Improvement Center, CIMMYT) の HarvestPlus プロジェクトで働いている。彼の素晴らしい仕事は、高収量で栄養価が高くサビ病耐性で気候変動に起因する高温や早魃によるストレスに耐性のあるコムギの育種である。

「私には、きわめて名誉なことです。」 Govindan 氏は語った。「我々が CIMMYT や HarvestPlus で行っている仕事が、隠れた飢餓を大幅に減らし、何百万人もの人々がより良い、より生産的な生活を南の世界の人々のために役立つことを評価していただき、大変な自信ともなる。」と語った。

CIMMYT の科学者は、微量栄養素欠乏症 (隠れた飢えとも呼ばれる) と、作物の生物的保全を通じて戦うことを模索している。 CIMMYT によると、世界で約 20 億人の人々が、鉄欠乏性貧血、ビタミン A 欠乏症、および亜鉛欠乏症を特徴とする、隠れた飢餓に苦しんでいる。

以下のニュースリリースをご覧ください。 [CIMMYT](#)

---

### 栄養学の専門家は、遺伝子組換え (GM) 作物がフィリピンの栄養要求を満たすことができると語った

モンサント社の世界保健・栄養担当ディレクター、Milton Stokes 博士は、2017 年 3 月 7 日の記者会見でフィリピンの栄養要求を満たすのに遺伝子組換え作物 (GM) が役に立つと述べた。

Stoke 博士は、「ビタミン A 欠乏症 (VAD) に対抗するために、ゴールデンライスのような  $\beta$ -カロチン生合成遺伝子を含む作物は、毎年 100~200 万人の死亡と 50 万人の失明を防ぐのに役立つ。」と語った。同氏は、遺伝子組換え (GM) 作物は従来の作物と同じに安全で栄養価が高いと強調し、「遺伝子組換え (GM) 作物研究が行われてから 30 年が経ち、1,000 を超える研究が行われた。これらすべてが遺伝子組換え (GM) 作物は、従来法の育種によるものと同じく安全であることが示されている。」と付け加えた。

フィリピンでは、GM 作物の安全性と影響に関する議論が進行中である。Stoke 博士は、政府機関が遺伝子組換え作物 (GM) を審査し、承認しており、他の国々でもフィリピンと同じく複数の機関が GM 規制に関与していると語った。

詳しい情報は、以下のサイトで Charina Ocampo 氏と連絡を取って下さい。  
[charina.garrido.ocampo@monsanto.com](mailto:charina.garrido.ocampo@monsanto.com)

### インドの大学で再利用可能な BT ワタの種子開発が始まった

インドのパンジャブ農業大学 (Punjab Agricultural University、PAU) の科学者は、再利用が可能な遺伝子組換え Bt ワタの種子を開発し、農家の投入コストを節約している。これらのワタの品種は PAUBt1 と F1861 である。Rajasthan Agricultural University も RS 2013 を開発した。F1861 および RS 2013 は、ワタ研究中央機構 (Central Institute of Cotton Research) で Bt 品種とされたものである。

PAU の副学長 Baldev Singh Dhillon 博士は、「これらの品種は、予定されている ICAR の後、次の月に早くも入手可能になる。」と語った。彼は、さらにインド農業研究評議会が各大学にこれらの品種の放出に関する提案を提出するよう求めていると述べた。

Dhillon 博士はまた、種子増殖を今年から始めるとも語った。「来年までに、農家が播種できるように種子を配布できるようにしたい。間違いなく 2019 年までに大規模に種を配布できる。」と述べた。これらの新 Bt ワタ種子の価格は、今ある一般的なものよりもはるかに低いと予想される。

---

### 日本農学アカデミーが GM 作物の圃場試験の実施を提言

農学専門学術機関である日本農業アカデミーは、「北海道での遺伝子組換え (GM) テンサイを優先して、各種 GM 作物の圃場試験を実施すべし。とする提言を行った。」との記者会見を行った。記者会見は、2017 年 3 月 1 日に東京の農林水産省で開催され、同国の 10 のメディアの代表者が出席した。

提言は、GM 作物、特に除草剤耐性 GM テンサイの圃場試験を実施して、米国およびカナダなどの除草剤耐性 (HT) テンサイ作付け国が享受する技術のコスト削減効果を確認することを目指している。非労働集約的な新技術は、苗の植え付けよりもむしろ直接播種を利用して、労力や雑草除去で発生からコストを節約できる。

この提案は、また日本の全地域で共同して実施することを望んでいることを中央政府と北海道庁にアカデミーから提言されたものである。さらにこの技術の恩恵を受けると考えられる各方面に提言を発信している。この提言は、当アカデミー

のウェブサイトアップロードされ、政府およびその研究機関ならびに関連学会に郵送された。

日本語での詳細は以下のサイトにある。[academy.nougaku.jp](http://academy.nougaku.jp) 日本におけるバイオテクノロジーについては日本バイオテクノロジー情報センターの富田房男博士に以下のサイトで連絡を取って下さい。[ftomita@a-hitbio.com](mailto:ftomita@a-hitbio.com)

---

## ヨーロッパ

### 中東 21 ヶ国からのパスタコムギについて初めての遺伝ラジオグラフィを公開

スペインの科学者チームは University of Granada (UGR) の同僚と協力して初めてパスタコムギ (デュラムコムギ) 遺伝子、表現型および地理学的適応研究を実施しました。研究チームは、スペイン北部と南部の 6 つの環境で栽培されている 20 の現代品種とともに栽培された 21 の地中海諸国からの 172 種のデュラムコムギ地域品種 (地域種) を集めて表現型の検討を行った。

この研究で行われた表現型形質には、開花時期、バイオマス、旱魃抵抗性、葉の構造、光合成、タンパク質、収量および収穫物の内容が含まれている。448 個の対立遺伝子 (同じ遺伝子が有する異形、たとえばその遺伝子配列の変化があり、その遺伝子に特異的な改質がある) を 44 個のマイクロサテライト (SSR) 遺伝子で同定することができた。448 個の対立遺伝子には、226 個が 5 % 以下の変化であり、遺伝子座当たり平均 10 個の対立遺伝子 (染色体上の固定された位置、例えば、遺伝子の位置あるいは遺伝子マーカー) が存在した。

統計的研究により、コムギを 5 つの遺伝子亜集団に分けることができ、1 つはすべて近代品種で、他の 4 種は近縁である地理的起源のある地域種：東地中海、東部バルカンとトルコ、西バルカンとエジプト、西部地中海由来の種である。この研究の結果、正確な量のマーカー、それらのゲノム上での正確な分布、適切な表現型分析をさだめたので遺伝的距離とデュラムコムギの様々な環境での異なる環境への適応に大きな類似点が見出された。

詳しくは、以下のサイトの新しい論文をご覧ください。[UGR website](#)

---

### ヨーロッパの化学会社がグリホサートに発がん性はないとした発言

欧州化学物質庁 (ECHA) のリスク評価委員会 (RAC) は、入手可能な科学的証拠が、グリホサートを発癌物質、変異原または繁殖毒性物質として分類するための分類、表示および包装規則の基準を満たしていないと結論した。RAC は、分

類、表示および包装規則の基準に対するグリフォセートの危険性を評価し、広範な科学的データを検討した。

委員会はまた、グリホサートに関する発表された研究を除いて、業界が実施した研究の元の報告書に完全にアクセスできた。RACは、2016年の公開協議中に受け取った科学的に関連する情報を含むすべての科学的データを評価した。RACは、2016年12月の第39回会議で関係者との最初のディスカッションを開催した。委員会と加盟国は、グリホサートを農薬の有効成分として今年後半に使用する承認を更新するかどうかを検討する際にこれらの意見を取り上げる予定である。

より詳しい情報は、以下のサイトにあるニュースリリースをご覧ください。

[ECHA](#)

---

## 研究

### CRY10AA 遺伝子は、遺伝子組換えワタにワタゾウムシ耐性を付与する

Da Lu氏が率いるワシントン州立大学の研究者は、*Bacillus thuringiensis* (Bt)の遺伝子である *cry10Aa* によって付与されたワタゾウムシ耐性 (CBW) に対する耐性の高い遺伝子組換え (GM) ワタの開発に成功した。

チームは、ワタプロモーター *uceA1.7* で駆動される *cry10Aa* 遺伝子を含む形質転換ベクターを設計し、バイオリスティック形質転換を介してブラジルのワタ品種に導入した。T<sub>0</sub> GM ワタの葉および花芽組織の両方において *cry10Aa* の転写レベルが高いことを明らかにした。分析によると、T<sub>0</sub> GM 個体は1つまたは2つの導入遺伝子コピーを有していた。

CBW 感受性バイオアッセイは、有意な殺虫効果および高い CBW 死亡率を示した。分子分析によると、組換え体の安定性および CBW に対する殺虫効果が T<sub>1</sub> 世代にも維持され、*cry10Aa* 毒素発現レベルは組織内に高いままであることを明らかにした。

研究の詳細は以下のサイトをご覧ください。 [Plant Biotechnology Journal](#)

---

## 新育種技術 (NBT)

### CRISPR / CAS9 による高アミロースイネの開発

高アミロースとレジスタントデンプンの穀物は、健康に有益である。以前の研究によるとデンプン分枝酵素（*SBE*）がデンプンの構造および物理的特性を決定する上で主要な役割を果たすことが実証されている。しかしながら、デンプンの分枝を制御することは、商業的品種改良には依然として課題である。

中国農業科学アカデミーの Yongwei Sun 氏が率いる研究で CRISPR / Cas9 技術を用いて、イネの *SBEI* および *SBEIIb* 遺伝子の標的突然変異誘発を行った。チームは  $T_0$  ホモ接合型または倍数型対立遺伝子の *SBEI* および *SBEIIb* 変異株を得た。ホモ接合型  $T_0$  系統の突然変異は、安定して  $T_1$  世代に伝達され、一方、対立遺伝子系統の突然変異はメンデル様式で分離された。

*SBEI* 突然変異体と野生型との間には明白な違いは観察されなかった。しかし、*SBEII* 突然変異体は、脱分岐アミロペクチン中に存在する長い鎖の割合が高く、アミラーゼ含有量およびレジスタントデンプン含量が有意に増加し、デンプンの微細構造および栄養特性が変化した。

これらの結果は、*SBEIIb* の CRISPR / Cas9 媒介性遺伝子編集により高アミロースイネを開発する可能性を明示している。

詳しい情報は、以下のサイトにある原報をご覧ください。 [Frontiers in Plant Science](#)

---

## 作物バイオテク以外

### 遺伝子編集で改変された豚は、主要なウイルス性疾患に耐性がある

エジンバラ大学の科学者は、世界中のほとんどの産豚国でウイルス病の主要な病原体であり、ヨーロッパの豚肉産業は毎年 15 億ユーロの損害があるブタ繁殖・呼吸器症候群（PRRS）に抵抗性を示すブタを開発した。

以前の研究では、PRRS ウイルスがマクロファージと呼ばれる免疫細胞を標的とすることが示されている。CD163 と呼ばれるこれらの細胞の表面上の分子は、PRRS ウイルスの感染を確立するのに重要な役割を果たすことが知られている。

エジンバラ大学の Roslin Institute の研究チームは、Genus と協力して、CRISPR / Cas9 遺伝子編集ツールを使用して、ブタの DNA コード中の CD163 遺伝子の小さな部分を切り出した。改変された CD163 遺伝子を有するブタ由来の細胞に関する試験で、その変化がウイルスの感染を引き起こすのを阻止することが示された。

詳細は、以下のサイトにあるニュースリリースをご覧ください。 [The University of Edinburgh](#).

---

## 文献備忘録

### 意見及び見解の表明：一般市民へのメッセージ

国際アグリバイオ事業団（ISAAA）は、「意見及び見解の表明：一般市民へのメッセージ」という短いビデオ（6分）を公開し、バイオテクノロジーの専門家と関係者のメッセージを一般市民向けに要約している。このビデオは、遺伝子組換え作物の安全性と遺伝子組換え作物に対する一般市民の理解の重要性および遺伝子組換え作物導入がもたらす一般市民の利益に焦点をあてている。



これは、この「意見及び見解の表明：一般市民へのメッセージ」の第5回目のもので、最新のものである。これまでのものは、以下のサイトにあるのでご覧ください。

[Issues and Challenges in Crop Biotechnology](#)

[Addressing Biotech Critics](#)

[Benefits of Countries from Adopting and Importing GM Crops](#)

[Potential Benefits from Adopting GM Crops](#)

上記のビデオをご覧になり、情報を共有しましょう！！ [ISAAA videos](#)

---

### ペトリ・ディッシュ（PETRI DISH）がオンライン化された

マレーシアのバイオテクノロジー情報センター（MABIC）によって出版されたマレーシアの最初の科学新聞であるペトリ・ディッシュは、今や本格的にオンライン化されました。以下のサイトをご覧ください。

この新聞は、閣僚を含む多くの関係者に過去7年間、マレーシアのバイオテクノロジーサークルの主要な方々すべてに配布されてきた。バイオテクノロジーのニュースをより多くの方々、特に一般市民に届ける目的で、MABICはデジタ

ルポータルサイトを開始した。この新しいポータルサイトでは、一般市民が新興技術のアクセスを容易にし、政策立案者が政策、規制、資金調達について情報に基づいた意思決定を行い、且つ若者が科学・技術・工学・数学（Science, Technology, Engineering and Mathematics, STEM）の教育とキャリアを追求するよう促すことが期待される。



以下のサイトから閲覧できる。[The Petri Dish](http://www.thepetridish.my)